



生活クラブ風車



夢風News

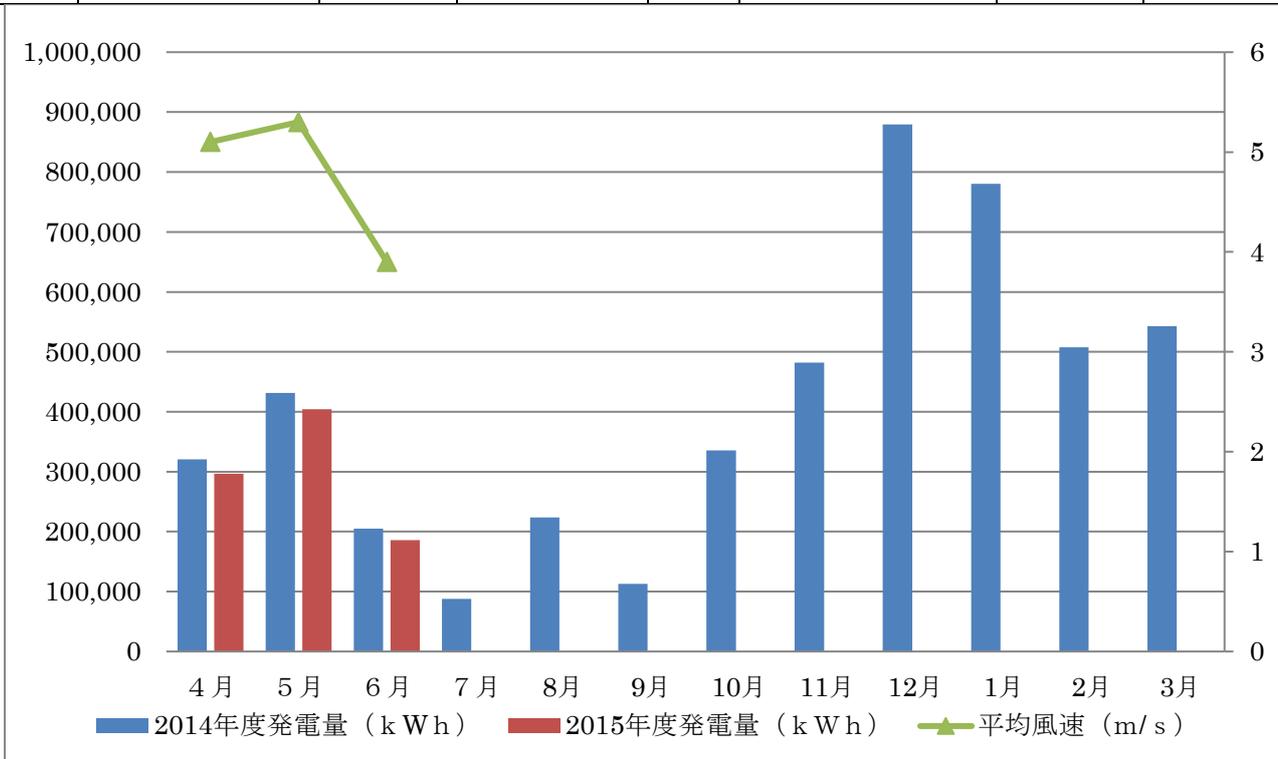
Vol.37

●発行 2015. 7. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2015年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	296,695【92.6%】	5.1	20.7	10月			
5月	404,165【93.7%】	5.3	27.3	11月			
6月	185,870【90.7%】	3.9	13.0	12月			
7月				1月			
8月				2月			
9月				3月			



○ 6月に入り、にかほの風も弱くなってきました。風車は大きなトラブルもなく順調に稼働しました。

■ にかほ市と生活クラブ・GF 秋田との連携推進協議会総会 報告



<写真：須田正彦にかほ市副市長>

7月8日、にかほ市役所象潟庁舎にて、2015年度連携推進協議会総会を開催しました。

2015年度は、夢風の稼働状況の共有、にかほ市と生活クラブとの交流事業の実施に加え、これまでの取組をもう一步すすめて、夢風ブランド開発活動や芹田地区での加工用トマトの実験栽培に取り組むことを方針として承認しました。

加工用トマトの栽培については市役所でも関心が高く、連携推進協議会共同代表の須田正彦副市長からは、トマトの苗を持ち帰って自宅で栽培しているが順調に大きくなっているとのご挨拶がありました。今年も、連携推進協議会より一部費用補助をし、秋には実験栽培の結果報告と総括を共有します。

■ 夢風ブランド開發生産者連絡会総会 報告

6月24日に2015年度夢風ブランド開發生産者連絡会総会を行いました。

2015年度は、(株)飛良泉の日本酒、伊藤製麺所のタラーメン、佐藤勘六商店のいちじく、日南工業(株)の鱈しょっつるで生活クラブ組合員と共にオリジナルの夢風ブランド品の開発。東京、神奈川、千葉で行うデポフェアへの取組と参加。連絡会の事務局機能を高めることを活動方針として承認しました。連絡会の参加団体は、(有)三浦米太郎商店、でんべいかれい生産グループ、伊藤製麺所、佐藤勘六商店、(株)飛良泉本舗、白川湖月堂、幸月堂菓子舗、四つ葉ネットワーク、芹田営農組合、日南工業(株)、道の駅ねむの丘、にかほ市役所、連携推進協議会です。会長は引き続き三浦米太郎商店の三浦悦朗代表です。



7月8日の加工用トマトの様子です。花が咲いて、実もなり始めました。

今年も、雨が少なく少し心配しましたが、順調に育っています。

■グリーンファンド秋田理事紹介 林 洋一さん（生活クラブ東京常務理事）

今年度より、一般社団法人グリーンファンド秋田(以下 GF 秋田と略)の理事に就任しました生活クラブ生協(東京)の林と申します。GF 秋田設立以来、理事を務めてまいりました赤坂より引き継ぎました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

恥ずかしながら、夢風竣工以降3年が過ぎているにもかかわらず、現地に行ったことがありませんでした。7月8日の「にかほ市との連携推進協議会総会」に出席することになり、よ〜うやく現地に伺い、ナマ夢風を視察することができました。首都圏4単協がGF秋田への出資・融資と組合員カンパで実現した夢風が、どのような地域で稼働しているのか、ブレードがブンブン回転してどれだけ発電しているのか(7月は風が弱いですね…)、にかほ市の方々が私たちの事業と運動をどのように捉えているのか、また、私たちがどう貢献できているのか等々、楽しく想像を膨らませています。

さて、周りを見回すと、政府が2030年の原発発電割合を20~22%とするエネルギーミックス案の決定、連動して原子力発電所再稼働の動き、資源エネルギー庁「小売電気事業の登録の申請等に関する省令案」の第4条等、脱原発社会の実現と再生可能エネルギーの普及に向けた障壁は高くなる一方です。だからと言って立ち止まるわけには行きません。次世代の暮らしを想像して、今、市民自らの意志で電力を選択できる社会を実現していくために対案を示し、具体的な行動を積み重ねていきましょう！



<林洋一理事は写真の一番右です>

■厚田市民風力発電所竣工式に参加しました



7月5日、北海道石狩市で厚田市民風力発電所の竣工式が、北海道グリーンファンド、市民風力発電をはじめ、生活クラブ北海道の組合員や生産者、市民出資者の方々、関係者の方々など大勢の参加で開催されました。

厚田の地元の方によるお料理や、歌手の庄野真代さんによるミニライブもあり、みんなのお祝いの気持ちが一っにつながり大盛況でした。

<写真：厚田市民風力発電代表の鈴木亨氏>



●● 夢風ブランドものがたり ●●

<生活クラブ神奈川>

秋田酒こまちの圃場と飛良泉酒蔵を組合員が訪問 6/26-27



<写真：左から3人目飛良泉の齊藤社長、2人目遠田杜氏>

私の活動経験の中で、最も実り大きい2日間でした。

飛良泉の重厚感あふれる蔵構えから、社長の紳士な振る舞い。また、杜氏の凛々しく熱い情熱が「一杯の喜び」を生みだしているんだということが、短い日程の中ですぐに心にしみてきました。

生活クラブが秋田県にかほ市に風車を建てるという構想がきっかけで、その土地の人々の心を動かし、未来に挑む心と行動を作ったことが、すごく誇らしく思え、加工用トマトの栽培にチャレンジしてくれた農家さんの笑顔と畑とその遠方にそびえたつ風車「夢風」を眺めた時は、そのことを実感する象徴的なシュチュエーションでした。

夜の宴会では、自分の中で、生活クラブの組合員であるという事実がうれしく膨れ上がり、1801の酵母でつくられたおいしい飛良泉のお酒がそんな私をほめてくれているようでした。生産者と酌み交わすお酒がこんなにおいしかったのは初めてです。私にとっての生産者が増えた瞬間がそこにありました。

一つ反省としては、お酒の風味をどうしていくかという話の時に、自分なりの強い主張ができなかった事です。オリジナリティをだすにはどうしたらいいかの自分なりの考え方をまとめていなかったせいでもあります。もう少し視察の意味を深く理解しておくべきでした。今後はラベルデザインも決めていきます。今回の視察が生きるような選考をしたいです。

中川美穂 (かわさき生活クラブ理事)

